

2. 教育活動全体で推進するために

1 教育活動全体を通じた人権教育の推進

学校教育においては「生きる力」を育む教育活動が進められています。

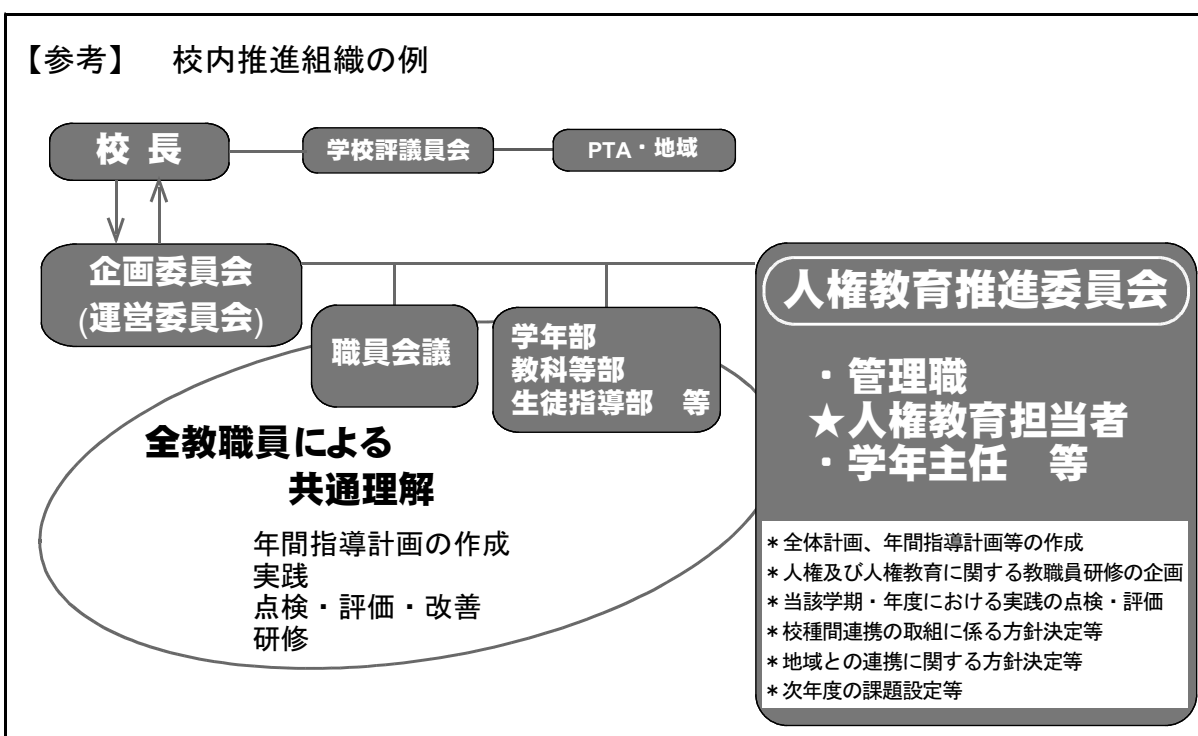
「生きる力」は、「変化の激しい社会において、他者と協調しつつ、自律的に社会生活を送るために必要な実践的な力」であり、これらは、人権教育を通じて育まれる他者との共感やコミュニケーションに係る力、具体的な人権問題に直面してそれを解決しようとする行動力なども重なりを持つものといえます。

人権教育は、このような「生きる力」を育む教育活動の基盤として、各教科、特別活動及び総合的な学習の時間や教科外活動等のそれぞれの特質を踏まえつつ、教育活動全体を通じてこれを推進することが大切です。

人権教育を推進するに当たっては、校長のリーダーシップの下、各校務分掌の取組と人権教育の目標との関連を明確にすることが求められます。そして、全ての教職員で組織的・継続的に行うことが不可欠です。

校内推進組織の構成としては、人権教育担当者、学年主任のほか、関連する教科等の研究部、生徒指導部、進路指導部、校務分掌組織の代表者等が必要に応じて随時参加するような機動的・機能的な構成とすること等が考えられます。

指導等の在り方編10～17ページ



〈コラム〉効果のある学校 (effective school)

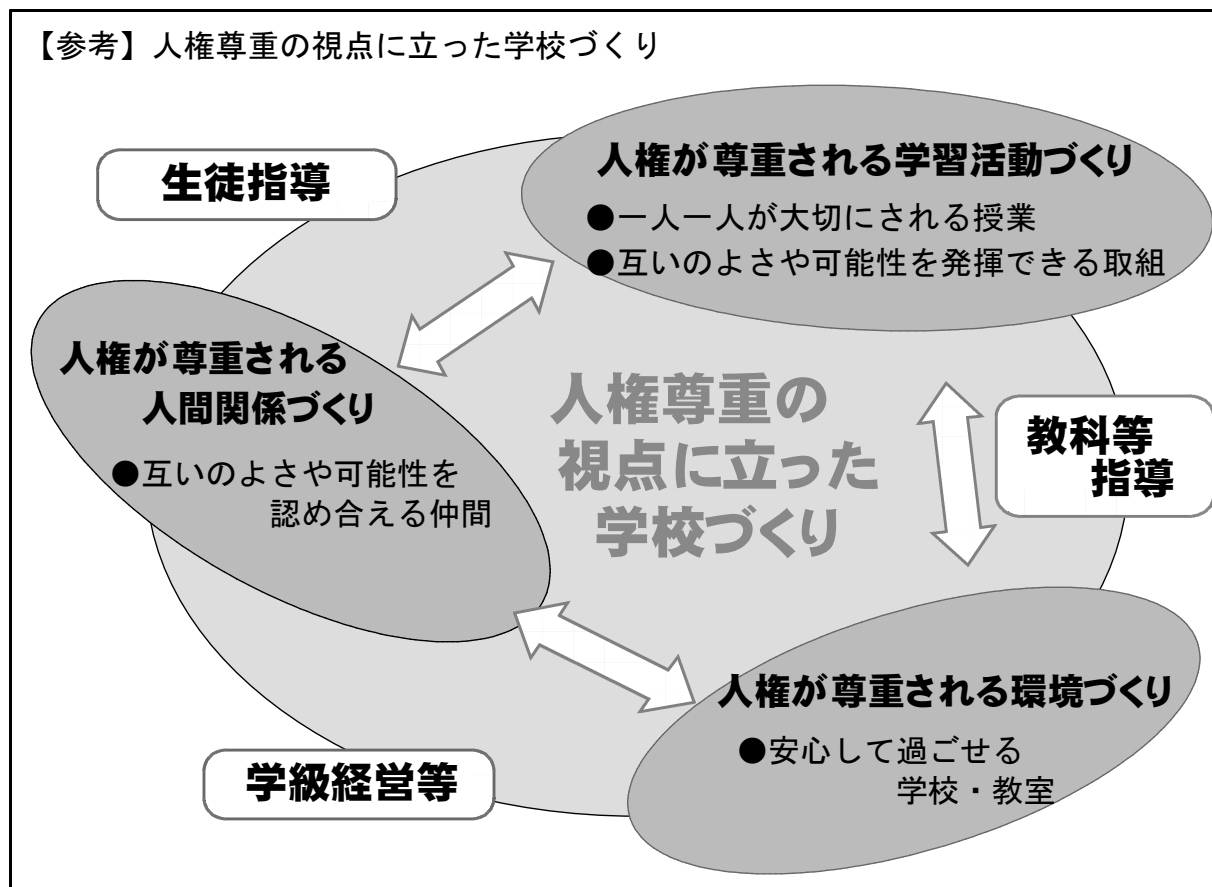
今日、「効果のある学校」に関する研究が国内外で進められています。これらの研究では、「教育的に不利な環境の下にある児童生徒の学力水準を押し上げている学校」において、学力の向上と人権感覚の育成とが併せて追求されている点に注目しており、人権感覚の育成は、子どもの自主性や社会性などの人格的な発達を促進するばかりでなく、学校の役割の大事な部分を占める学力形成においても成果を上げているとの指摘を行っています。

一人一人の個性やニーズに応じた基礎学力を獲得するためには、学校・学級の中で、現実に一人一人の存在や思いが大切にされるとい状況が成立していなければならないからです。

1 人権尊重の視点に立った学校づくり

学校においては、教科等指導、生徒指導、学級経営等、その活動の全体を通じて、人権尊重の精神に立った学校づくりを進めていかなければなりません。

教職員による厳しさと優しさを兼ね備えた指導と、全ての教職員の意識的な参画、子どもの主体的な学級参加等を促進し、人権が尊重される学校教育を実現・維持するための環境整備に取り組むことが大切です。また、こうした基盤の上に、子ども同士の望ましい人間関係を形成し、人権尊重の意識と実践力を養う学習活動を展開していくことが求められます。



2 人権尊重の理念に立った生徒指導

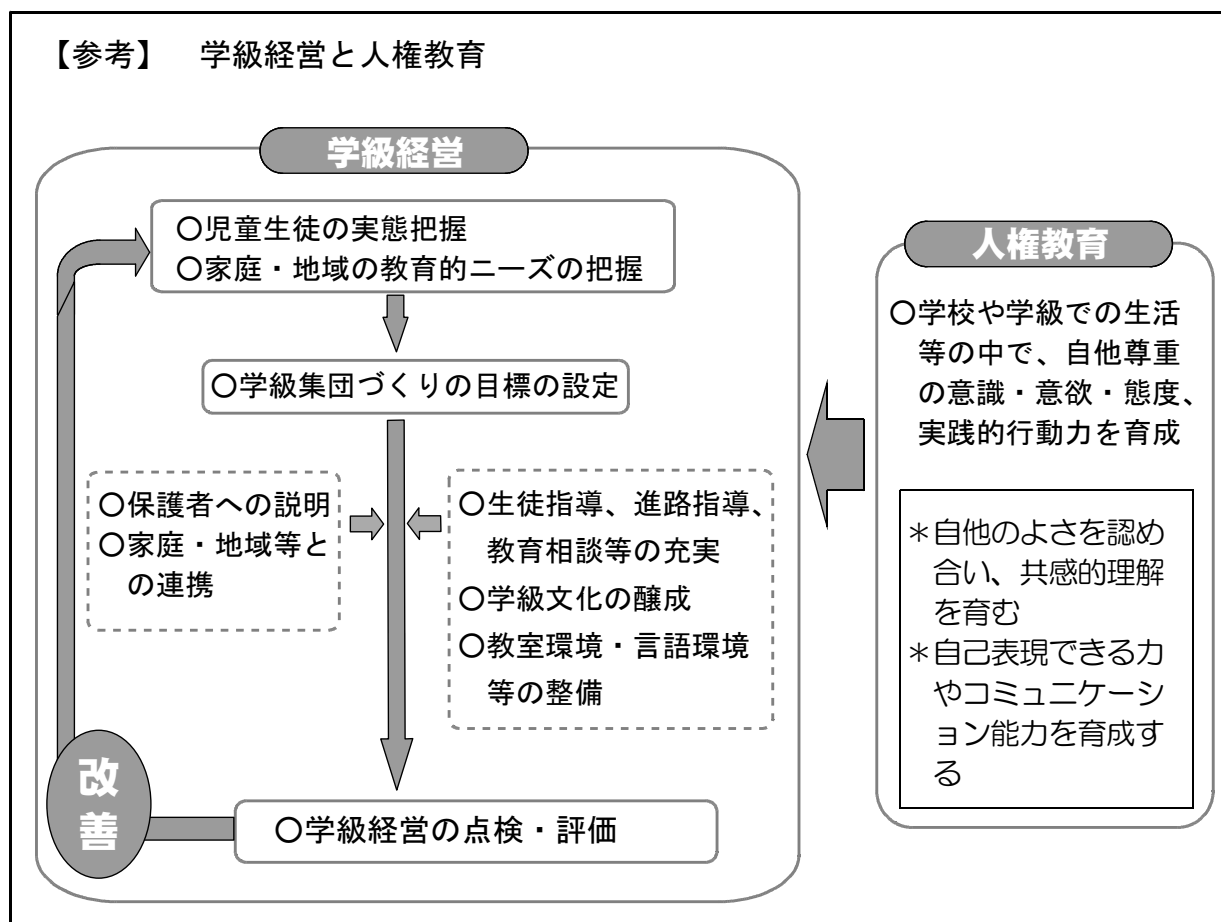
生徒指導は、個々の子どもの自己指導能力を伸ばす積極的な面に本来の意義があり、全ての子ども的人格のよりよき発達を目指すとともに、学校生活が、子ども一人一人にとって、また、学級や学年、学校全体といった集団にとっても、充実したものとなるようにすることを目的としています。

学校においては、学級・ホームルーム活動における集団指導や、様々な場面における個別指導等の中で、自己指導能力の育成を目指した積極的な生徒指導の活動の展開を図り、子ども同士の望ましい人間関係を形成するとともに、これらの取組を通じて「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること」ができる人権感覚を涵養していくことが重要です。また、このことは、暴力行為やいじめ等の生徒指導上の諸問題の未然防止にも資することとなると考えられます。

3 人権尊重の理念に立った学級経営等

人権教育の推進を図る上では、教育の場である学校が、人権が尊重され、安心して過ごせる場とならなければなりません。的確な子どもの理解の下、学校生活全体において人権が尊重されるような環境づくりを進めていく必要があります。

特に、子どもが、多くの時間を過ごすそれぞれの学級の中で、自他のよさを認め合える人間関係を相互に形成していけるようにすることが重要であり、このような観点から学級経営に努めなければなりません。



4 人権尊重の視点からの学校づくりと学力向上

学校教育においては、全ての子どもに、知識や技能はもちろんのこと、これに加えて、学ぶ意欲や自分で課題を見付け、自ら学び、主体的に判断し、行動し、よりよく問題解決する資質や能力などの「確かな学力」を育むことが求められています。

「確かな学力」を育む上では、子ども一人一人の個性や教育的ニーズを把握し、学習意欲を高め、指導の充実を図っていくことが必要であり、そのためには、学校・学級の中で、一人一人の存在や思いが大切にされるという環境が成立していなければなりません。

このように見た場合、校内に人権尊重の理念に基づく教育活動を行き渡らせることは、学習指導の効果的な実施を図る上でも、重要な観点の一つとなるものと考えられます。

学校においては、「確かな学力」を育むためにも、学校全体として「一人一人を大切にし、個に応じた目的意識のある学習指導に取り組む」等の教育目標の共通理解を図るとともに、学ぶことの楽しさを体験させ、望ましい人間関係等を培い、学習意欲の向上に努めることが求められています。